

第 6 回	生体とエネルギー 1 ー酵素が代謝を支えるー
第 7 回	生体とエネルギー 2 ー解糖系、TCA 回路、電子伝達系ー
第 8 回	細胞の分裂・情報伝達・がん化 1 ー生命を支える細胞分裂ー
第 9 回	細胞の分裂・情報伝達・がん化 2 ー細胞の分化と細胞間の情報交換ー
第 10 回	生命体の受精と成長 1 ー生殖のしくみー
第 11 回	生命体の受精と成長 2 ー受精から体ができるまでー
第 12 回	多細胞生物の自己維持機構 1 ー個体の自己維持ー
第 13 回	多細胞生物の自己維持機構 2 ー生体防御機構ー
第 14 回	生命科学技术と社会 1 ー研究と生命倫理ー
第 15 回	生命科学技术と社会 2 ークローン技術、幹細胞と再生医療ー
テキスト	南雲保編著「優しい基礎生物学 第 2 版」羊土社
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	参考図書：丸山工作、丸山敬 著 「生命科学入門」東京教学者
課題に対 するフィード バックの方 法	授業の終わりに毎回小テスト（評価対象としない）を行い、授業の中でそれについての解説を行う。
学生へのメ ッセージ・ コメント	<p>生物基礎の教科書を通読しておくことが望ましい。 ヒトを含む生命体の構造と働きについて興味や関心をもち、積極的に講義に臨む姿勢が望まれる。</p> <p>高校の時に履修していた生物に関する教科書及び参考書を用いて復習してください。 皆さんの予備知識に違いがあることを前提として、対話形式で質問をたくさん投げかけます。知らないこと、わからないこと、不思議に思ったことがあれば講義中に遠慮なく質問してください。</p> <p>インターネットで検索することも重要なスキルですが、まずは教科書をよく読んで、それでもわからないときにインターネットで検索するよう心掛けてください。</p>